

**平成24年度進行管理・評価シート**  
**佐賀市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」の設置	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 佐賀市都市計画道路網の再編	.....	2
2 景観計画の活用と景観条例の運用	.....	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 佐賀城公園整備事業	.....	4
2 重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業	.....	5
3 旧久富家住宅取得保存修理事業	.....	6
4 森永家住宅取得保存修理事業	.....	7
5 旧牛島家(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業	.....	8
6 大隈記念館改修事業	.....	9
7 緑化推進事業	.....	10
8 佐賀市文化遺産活用「まちみがき・人みがき」事業	.....	11
9 徴古館を活かしたまちづくり推進事業	.....	12
10 地域文化保存・継承支援事業	.....	13
11 指定文化財要覧作成事業	.....	14
12 まちづくりファンド活用事業	.....	15
13 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金	.....	16
14 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金	.....	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・指定	.....	18
保存管理計画の策定	.....	
2 文化財の修理(整備)、防災	.....	19
3 文化財に関する普及・啓発の取り組み	.....	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 歴史のまちづくり 等	.....	21
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	.....	22

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」の設置		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

当該計画の推進にあたっては、法第11条に基づく「佐賀市歴史まちづくり協議会」を中心に、事業実施に関する事項や計画変更に関する協議を行う。  
 また、重点区域を対象とした歴史的風致の維持及び向上を図るための各種事業や取り組みを庁内の関係課で調整する「(仮称)佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」の設置(平成24年8月23日設置 庁内12関係課)  
 同会議では、計画に記載した事業の調整を進めるとともに、進行管理を行っている。  
 事務局は、「企画調整部歴史まちづくり課」から事業実施にあたり名称変更を行った「企画調整部都市デザイン課」に置き、事業内容が主に建設部の事業であることから、建設部主管課である「建設部都市政策課」と共同して事業調整を行っている。  
 ●「各課個別調整会議」の開催(随時開催)  
 佐賀市歴史まちづくり事業調整会議の設置を受けて、都市デザイン課及び都市政策課が個別事業ごとに会議を開催し、事業進捗及び関係各課との事業調整を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし

状況を示す写真や資料等

●歴史まちづくりへの全庁的な取り組み

計画策定時(平成22年9月1日設置)

■佐賀市歴史まちづくり庁内検討会  
 企画調整部  
 ○総合政策課、○歴史まちづくり課  
 教育委員会社会教育部  
 ○文化振興課  
 建設部  
 ○建築指導課、○都市政策課、  
 ○緑化推進課、○道路整備課、  
 ○道路管理課、○河川砂防課  
 経済部  
 ○商業振興課、○観光振興課  
 農林水産部  
 ○農村環境課



事業実施時(平成24年8月23日設置)

■佐賀市歴史まちづくり事業調整会議  
 企画調整部  
 ○総合政策課、○都市デザイン課  
 教育委員会社会教育部  
 ○文化振興課  
 建設部  
 ○建築指導課、○都市政策課、  
 ○緑化推進課、○道路整備課、  
 ○道路管理課、○河川砂防課  
 経済部  
 ○商業振興課、○観光振興課  
 総務部  
 ○財政課

■佐賀市歴史まちづくり協議会  
 (平成25年5月21日(火)開催)  
 ・議事  
 佐賀市歴史的風致維持向上計画について  
 平成24年度の事業評価について  
 事業スケジュールについて

■佐賀市歴史まちづくり事業調整会議  
 (平成24年8月23日(木)開催)  
 <協議事項の概要>  
 ・報告事項  
 法の概要、本市計画の概要  
 ・協議事項  
 事業、今後のスケジュール

■各課個別調整会議(随時開催)  
 ・個別事業別に進捗管理等の協議を行う。



佐賀市歴史まちづくり協議会  
平成25年5月21日(火)



各課個別調整会議(随時開催)  
平成25年1月8日(火)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成24年度
佐賀市都市計画道路網の再編		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 平成17年度に旧佐賀市の都市計画道路を、平成18年度に旧大和町の都市計画道路の見直し案の公表を行った。  
 今回の見直しでは、多布施川などに代表される緑あふれる自然環境への影響、良好な住環境やまちなみへの影響を重要視した内容となっている。  
 廃止に向けての説明会を開催し、地元の理解を得られた路線から順次廃止の手続きを進めており、平成23年度末までに7路線7区間で廃止または計画の見直しの手続きが完了している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●平成24年度 1路線1区間を廃止、1路線1区間の線形見直しを行った。  
 平成24年度の内容：  
 唐人町多布施町線(W=16m L=1450m)⇒廃止、久留米小城線(W=12m L=2780m)の内L=10m区間のルートを見直した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

佐賀市都市計画道路の見直しの結果

旧佐賀市の都市計画道路  
 見直し対象路線：25路線27区間  
 (約17.22km)  
 見直し結果：存続 14区間  
 廃止 10区間  
 見直し 2区間  
 保留 1区間

旧大和町の都市計画道路  
 見直し対象路線：6路線8区間  
 (約7.75km)  
 見直し結果：存続 3区間  
 廃止 2区間  
 見直し 2区間  
 保留 1区間

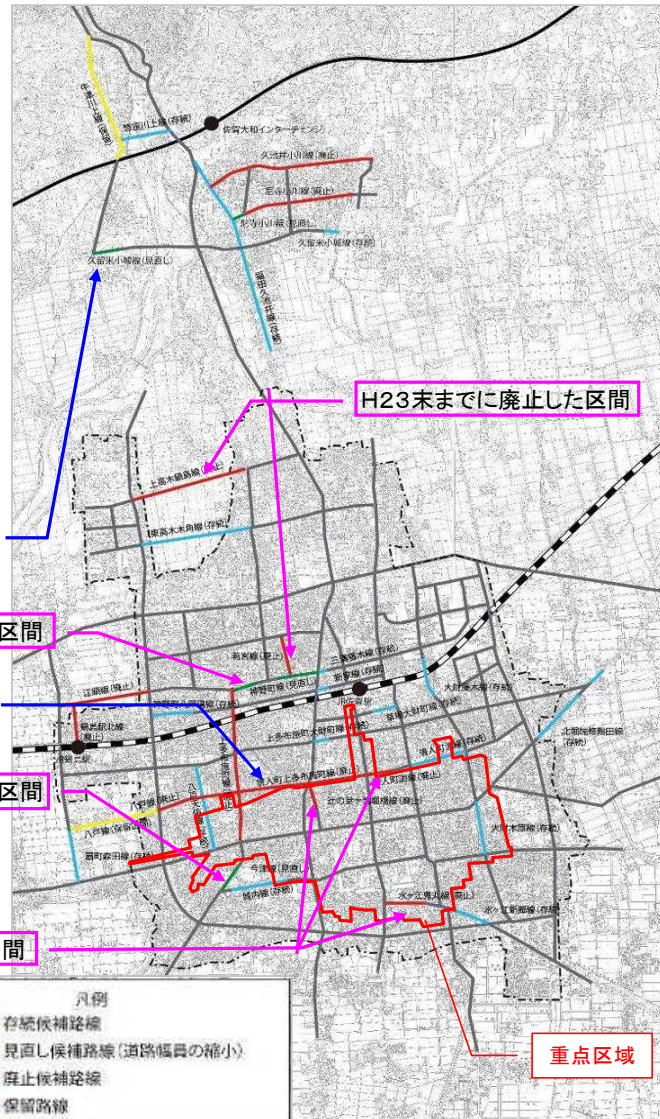
H24に見直した区間  
 久留米小城線

H23末までに見直した区間

H24に廃止した区間  
 唐人町多布施町線

H23末までに見直した区間

H23末までに廃止した区間



都市計画道路網見直図

凡例	
<span style="color: blue;">—</span>	存続候補路線
<span style="color: green;">—</span>	見直し候補路線(道路幅員の縮小)
<span style="color: red;">—</span>	廃止候補路線
<span style="color: yellow;">—</span>	保留路線
<span style="color: grey;">—</span>	整備済、事業中及び評価対象外路線
- - -	市街化区域

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

景観計画の活用と景観条例の運用

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 当市では、市町村合併に伴い、平成18年度に策定した景観計画を見直し、平成23年度に変更を行った。市全域を「景観計画区域」とし、特に重点的に景観の誘導を図る必要があるエリアを「景観誘導エリア」と位置付ける。また、「景観誘導エリア」において、景観法に基づく景観に関するルールについて住民協議が整った地区を「景観形成地区」として指定していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成23年10月 「景観条例」制定
  - 平成24年1月 「景観計画」策定
  - 平成24年4月 「景観条例」施行
- 平成24年度の景観法に基づく届出等の件数(平成25年3月31日現在)
- 市域全体: 104件(建造物76件、工作物28件)
  - 長崎街道・柳町景観形成地区: 6件(建造物5件、工作物1件)
  - 城内景観形成地区12件(建造物10件、樹木2件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等



瓦の色彩 変更前(朱色)  
長崎街道・柳町景観形成地区



瓦の色彩 変更後(黒色)  
長崎街道・柳町景観形成地区



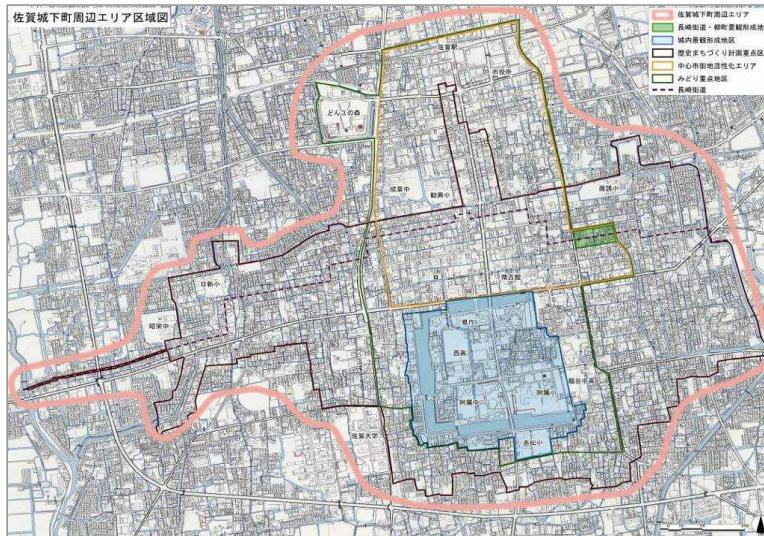
「さがレトロ館」の生垣(竣工)  
城内景観形成地区



八坂神社の屋根の修復(着工前)  
長崎街道・柳町景観形成地区



八坂神社の屋根の修復(竣工)  
長崎街道・柳町景観形成地区



景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」

凡例			
	佐賀城下町周辺エリア		長崎街道・柳町景観形成地区
	城内景観形成地区		中心市街地活性化エリア
	重点区域 (歴史まちづくり計画)		みどり重点区域



門扉の新設(着工前)  
長崎街道・柳町景観形成地区



門扉の新設(竣工)  
長崎街道・柳町景観形成地区

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況
佐賀城公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和43年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容 第二期工事として、昭和43年から公園計画区域を随時拡大しながら整備を続けてきている。現在、「歴史の森」地区として位置付けた佐賀城の本丸及び二の丸周辺の重点的な整備を進めており、「佐賀城下再生百年構想」に基づき、昭和13年・14年度に埋められた東堀の一部復元工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度 延長L=40m 石積工A=108㎡  
 平成24年度 延長L=66m 石積復元工A=105㎡  
 文化財調査

平成24年度の事業概要:

佐賀市教育委員会文化振興課による旧佐賀城東堀の石積護岸(赤石護岸)の文化財調査を行い、同課と協議をしながら護岸の積み直しを行い、掘削・復元する東堀の護岸とする。

進捗状況 ※計画年次との対応

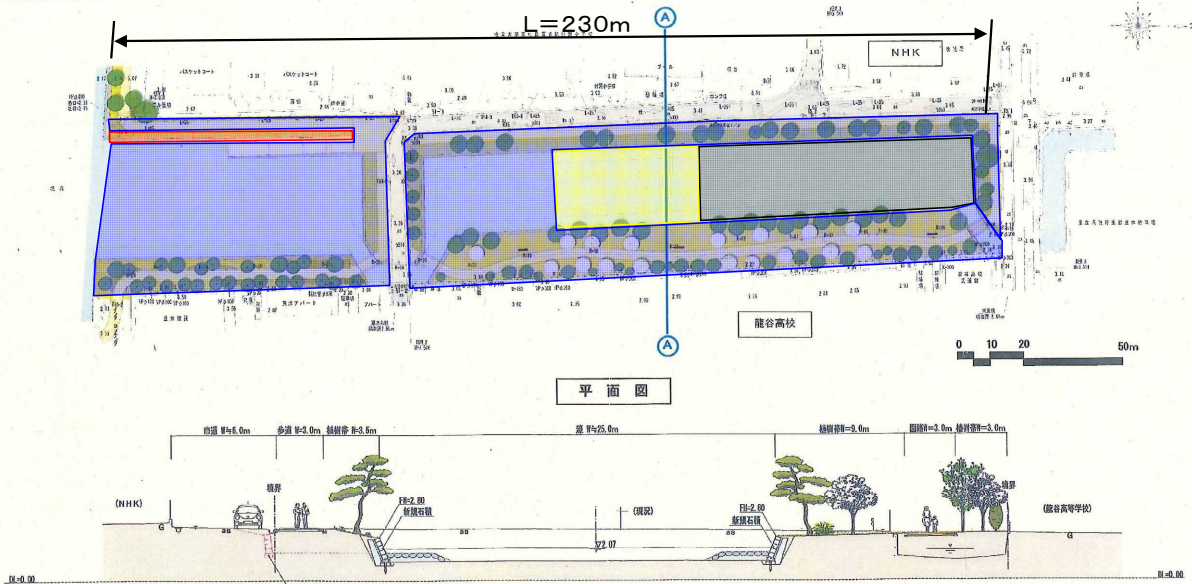
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

特に問題ない

状況を示す写真や資料等

■佐賀城公園 東堀整備計画図



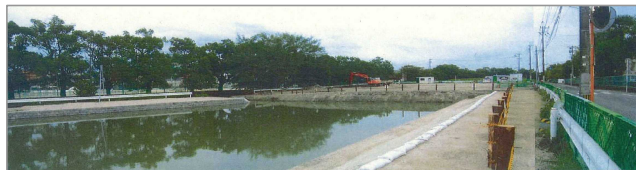
- 平成22年度 L=95m 石積工A=257㎡
- 平成23年度 L=40m 石積工A=108㎡
- 平成24年度 L=66m 石護復元工A=105㎡  
文化財調査
- 平成25年度 以降



着工前  
昭和13年・14年度に埋められた東堀  
〔北西端から撮影〕



文化財調査で確認された  
江戸時代の赤石護岸



竣工  
掘削され堀に復元された東堀の一部  
〔北西端から撮影〕

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備補助金

計画に記載している内容  
 この鯨の門は、天保6年(1835)から始まる本丸再建に際し、本丸の門として天保9年(1838)に完成したものである。  
 また、この門は、明治7年(1874)の佐賀の役では銃弾にさらされ、現在でも銃弾が観察できる。  
 昭和36年11月から昭和38年6月にかけて大規模な保存修理工事を行ったが、経年劣化により、門扉を中心に小修理が必要となったため保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」は、本市の観光拠点の一つである佐賀県立佐賀城本丸歴史館の門の役目も担っており、年間約17万人もの来館者がこの門をくぐって同館を訪れる。  
 「佐賀城鯨の門及び続櫓」の門扉について、門扉が下がり始めていることから、蝶番部分の修理の必要性があるとして、歴史的建造物修理の専門家に調査を依頼した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	改修に向けて、歴史的建造物保存修理の専門家に依頼し調査を行ったところ、早急な修理の必要性はないとの結論であったため、平成25年度予定していた保存修理は、一旦事業から取り下げることにする。このことに伴う計画変更について検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



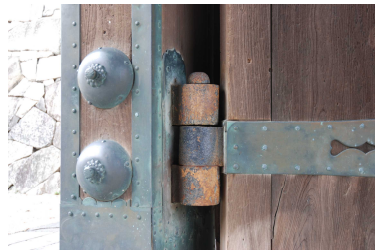
佐賀城鯨の門及び続櫓  
 [重要文化財]



復元された佐賀城本丸御殿(左)  
 (佐賀県立佐賀城本丸歴史館)  
 佐賀城鯨の門及び続櫓(右) [重要文化財]



修理を予定していた門扉  
 佐賀城鯨の門及び続櫓[重要文化財]



修理を予定していた蝶番部分の拡大  
 佐賀城鯨の門及び続櫓[重要文化財]

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
旧久富家住宅取得保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成24年度～平成27年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業
計画に記載している内容	長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に位置する旧久富家住宅を取得し、保存修理を行い公開する。旧久富家住宅は、大正10年に「履物問屋 久富商店」として建てられたもので、外観は大棟の妻壁を大きく見せ、大正期の大型町家として力感あふれる表構えであり、主屋西側の土蔵造りとともに、当時の面影を良く残している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 歴史的風致形成建造物の指定:平成25年1月28日
- 用地取得契約(建物は寄附):平成25年3月1日
- 図面の作成(市単独事業)  
保存修理のために必要な平面図、立面図等の作成を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

特に問題ない

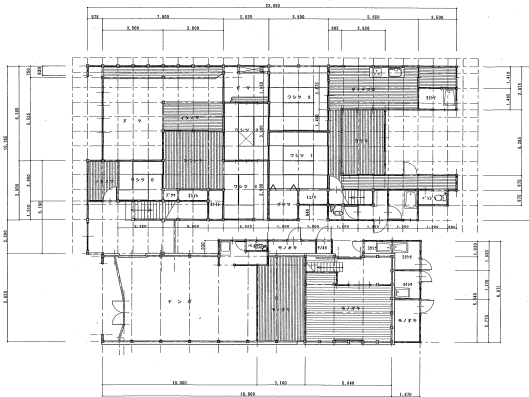
状況を示す写真や資料等



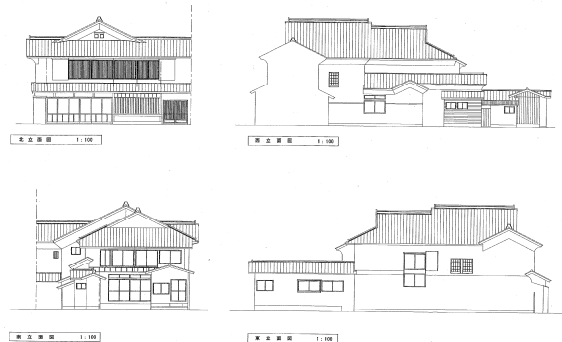
旧久富家住宅  
履物問屋 久富商店



附属土蔵  
履物の倉庫として利用されていた土蔵



平面図 主屋と附属土蔵  
1階部分



立面図 主屋部分

保存修理のため作成した平面図及び立面図の一部

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
森永家住宅取得保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成24年度～平成27年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業

計画に記載している内容  
 長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に位置する森永家住宅を取得し、保存修理を行い公開する。森永家住宅は、明治前期の建物が3棟(主屋・表土蔵・裏土蔵)残されており、当初は煙草製造販売業を営んでいたが、明治37年の煙草専売化に伴い呉服商に転じ、昭和9年まで呉服店を営んでいた。表土蔵は、妻入りの2階建て正面の森永呉服店の木看板の文字が目を惹く。裏土蔵は、妻入りの3階建て、敷地南側を流れる裏十間川に面して建ち、裏十間川に面した部分にも出入口を設け船運に対応したとみられる。西側の主屋は切妻造平屋建てである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 歴史的風致形成建造物の指定:平成24年9月28日
- 用地取得契約(建物は寄附):平成24年11月1日
- 図面の作成(市単独事業)  
保存修理のために必要な平面図、立面図等の作成を行った。
- 一般見学会及び相談会 参加者数:50名  
平成24年12月15日と平成25年1月19日に一般見学会を開催し、両日で計50人が森永家住宅を訪れ、建物の歴史等や改修の考え方の説明を受けた後、明治前期の建物の見学を行った。特にこの地区唯一の3階建て土蔵は、多くの人々が興味深そうに見学を行った。また同時に活用希望者向けの相談会を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
  - 計画どおり進捗していない
- 特に問題ない

状況を示す写真や資料等



表土蔵



主屋



地区唯一の3階の裏土蔵



森永家住宅見学会資料




森永家住宅の見学会  
 平成24年12月15日 参加者30人  
 平成25年 1月19日 参加者20人



森永家住宅見学会(平成24年12月15日)



森永家住宅見学会(平成24年12月15日)

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
旧牛島家(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に建つ旧牛島家は、佐賀市重要文化財に指定されており、佐賀市歴史民俗館を構成する施設の一つである。 旧牛島家は、江戸期に問屋業を営んでいた建物で、城下町南東の旧下今宿町にあった。この建物の建築年代は、18世紀前後に遡ると考えられ、佐賀市で最も古い町家建築として重要であり、道路拡幅に伴って現在地に移築された。 移転整備後10年以上が経過し、雨漏りや漆喰落ちなどが見られるようになってきたため、老朽化による損傷状態を調査した上で、保存のための整備を行う。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
●歴史的風致形成建造物の指定:平成24年5月28日 ●損傷調査 平成25年度の保存修理のため、雨漏りや漆喰落ち箇所などの損傷状態の調査を実施した。 ・損傷部分の調査・抽出(外部及び内部) ・雨漏れ箇所の調査 ・概算工事費の算定 ・修復方法の提案等			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特に問題ない		
状況を示す写真や資料等			
 <p>旧牛島家〔市重要文化財〕 佐賀市歴史民俗館</p>			
 <p>漆喰の落ちた場所の写真 旧牛島家西側壁面</p>		 <p>調査中の写真</p>	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
大隈記念館改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成25年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業		
計画に記載している内容	史跡「大隈重信旧宅」の隣に建つ大隈記念館は、昭和42年に開館した大隈重信侯にまつわる歴史資料を展示する施設である。同館の設計者は、早稲田大学建築学科教授であった今井兼次氏であり、どっしりとした独特の建物意匠は、大隈侯の動かざる姿をイメージしたものとされている。 今回、開館以来行っていない内部及び設備の改修と展示施設の更新を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●歴史的風致形成建造物の指定:平成24年5月28日 ●大隈記念館整備計画検討委員会(委員数15名)の設置 平成24年9月28日 ●大隈記念館整備計画検討委員会 4回開催 委員会では大隈記念館整備計画について検討を行い、第4回委員会では検討結果を報告し同委員会の承認を得た。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	検討委員会では、大隈記念館だけでなく、記念館周辺全体の整備計画と一体となった大隈記念館の改修のあり方の検討が必要との方針が出されたため、平成25年度に計画していた大隈記念館の整備期間が平成26年度に変更となったことに伴う計画変更について検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

■大隈記念館整備計画検討委員会

第1回(平成24年9月28日)

議題

- (1) 大隈記念館の現状と課題について
- (2) 大隈記念館展示改修について
- (3) 大隈記念館全体を活用した整備計画について

第2回(平成24年11月8日)

議題

- (1) 大隈記念館全体を活用した整備計画について
- (2) 大隈記念館展示改修内容について

第3回(平成25年1月21日)

議題

- (1) 前回からの確認事項について
- (2) 大隈記念館耐震診断及び耐震補強計画について
- (3) 大隈記念館全体を活用した整備計画について
- (4) 今後のスケジュールについて

第4回(平成25年3月27日)

議題

- (1) 検討委員会での主な意見について
- (2) 大隈記念館整備検討委員会最終報告について



大隈記念館



第1回大隈記念館整備計画検討委員会  
(平成24年9月28日)



大隈記念館周辺の市有地(航空写真)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況
緑化推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～平成33年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業) 助成制度 市単独事業
計画に記載している内容	平成20年度に施行した「佐賀市みどりあふれるまちづくり条例」に基づき、緑化を重点的に推進する区域として、佐賀市歴史的風致維持向上計画の重点区域の一部とその周辺を対象に平成23年8月に「みどり重点地区」を指定した。 これにより、公共施設敷地や周遊ルートにおける緑化の推進や民有地の緑化の推進を行う。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度の「みどり重点地区」内の事業  
 ポケットスペース・オープンスペースへの植栽:1カ所、公園の緑化:530本、学校等公共施設の緑化:2校、  
 民間施設の緑化:1件、大木の保全:2件、自治会やボランティア団体等が行う地域環境緑化活動への支援:18団体

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特に問題ない
--	--------

状況を示す写真や資料等

- 平成24年度の「みどり重点地区」での緑化の取り組み
- ポケットスペース、オープンスペースへの植栽(市単独事業)  
主要道路交差点部1カ所 約21㎡に植栽  
(シマトネリコ、ヘデラ等)
- 公園の緑化(市単独事業)  
530本(あじさい30本・コクチナシ500本)
- 学校等公共施設の緑化(市単独事業)  
赤松小学校 49本(ヒラドツツジなど)  
勸興小学校 芝張 約63㎡
- 民間施設の緑化(地域住宅計画に基づく事業)  
緑化協定を締結した民有地の緑化工事への補助 1件
- 大木の保全(市単独事業)  
樹木医による樹勢調査 2件
- 自治会やボランティア団体等が行う地域環境緑化活動への支援(市単独事業)  
花苗:17団体(22,639苗)  
樹木:1団体(12本)



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
佐賀市文化遺産活用「まちみがき・人みがき」事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度～平成25年度
支援事業名	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 ミュージアム活性化支援事業
計画に記載している内容	「さが城下まちづくり実行委員会」と「佐賀市文化遺産体験活動実行委員会」の2つの実行委員会が事業を実施している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業(主催:さが城下まちづくり実行委員会)
  - ・観光可能性調査:佐賀城跡(県史跡)を活用した観光可能性を調査するため、モニタリングツアーを開催した。
  - ・お濠めぐり舟の乗舟:お濠めぐり舟上で、佐賀城跡の歴史案内をしながら、佐賀城濠のお濠めぐり舟を運行した。
- 地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業(主催:佐賀市文化遺産体験活動実行委員会)
  - ・いけばな・茶道・和太鼓・能等の子ども教室を18団体により実施した。
  - ・子ども教室の成果を発表する18団体合同の発表会を開催した。開催日:平成25年2月23日・24日 出演者数:375名
- ミュージアム活性化支援事業(主催:さが城下まちづくり実行委員会)
  - ・佐賀城下探訪会を4回開催した。参加者数:277名
  - ・企画展を4回(自主事業3回を含む。)開催した。入館者数:18,856名(自主事業を含む。)
  - ・講演会「鍋島直正と神野御茶屋」を開催した。参加者数:52名

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特に問題ない
--	--------

状況を示す写真や資料等



観光可能性調査(ツアーガイド)  
さが城下まちづくり実行委員会



子ども教室(いけばな)  
佐賀市文化遺産体験活動実行委員会



合同発表会のちらし  
佐賀市文化遺産体験活動実行委員会



お濠めぐり舟の乗舟  
さが城下まちづくり実行委員会

- 平成24年度佐賀城下探訪会 参加者総数:277名
  - ・第1回「藩祖直茂ゆかりの宗智寺と神野御茶屋」  
平成24年9月16日(日) 参加者数:57名
  - ・第2回「長崎 観光丸クルージングと神之島」  
平成24年10月28日(日) 参加者数:63名
  - ・第3回「町人地のにぎわい -蔵造りの家を訪ねて」  
平成24年11月18日(日) 参加者数:83名
  - ・第4回「城下の医史跡めぐり(2) -城下西南地区」  
平成24年12月2日(日) 参加者数:74名



第4回佐賀城下探訪会  
さが城下まちづくり実行委員会



講演会「鍋島直正と神野御茶屋」  
さが城下まちづくり実行委員会

- 平成24年度企画展「神野御茶屋 - 殿様の別邸」  
会期:平成24年9月24日～平成24年12月1日  
入館者数:885名
- 講演会「鍋島直正と神野御茶屋」  
期日:平成24年10月6日(土)  
講師:大園隆二郎(佐賀市文化財保護審議会委員)  
参加者数:52名



企画展「神野御茶屋-殿様の別邸」  
さが城下まちづくり実行委員会

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
徴古館を活かしたまちづくり推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	平成20年10月3日に(財)鍋島報効会と佐賀市との間で締結した「徴古館を活かしたまちづくり基本協定」に基づき、徴古館周辺の都市公園整備と徴古館が有する鍋島家伝来の歴史資料を活用したまちづくりを進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●鍋島家伝来の歴史資料を所蔵・展示する鍋島報効会が運営する徴古館(登録博物館)で「佐賀城下ひなまつり」期間中にイベントを開催(主なイベント) ・徴古館オリジナルの「鍋島小紋柄折り紙」を使った折り紙教室 参加者数:83名 ・ひなまつり煎茶会 参加者:175名 ・お抹茶席 参加者:230名 ●徴古館が有する歴史資料の調査及び整理 調査資料数:約600件 ●徴古館が所蔵する御城下絵図を用いたまち歩きマップ(西部版)を作成し市民等に頒布した。作成数:3000部			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特に問題ない		

状況を示す写真や資料等



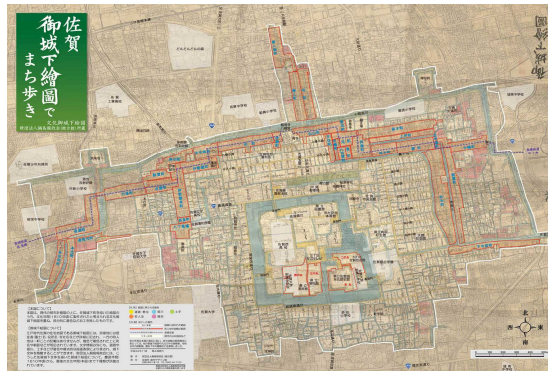
「鍋島小紋柄折り紙」を使った折り紙教室  
佐賀城下ひなまつり期間中  
平成25年2月23日・3月3日・10日



ひなまつり煎茶会  
佐賀城下ひなまつり期間中  
平成25年2月24日・3月3日



歴史資料整理作業  
徴古館所蔵の歴史資料の調査、  
写真撮影及びリスト作成



佐賀御城下絵図でまち歩き〔西部版〕  
現在の都市計画図の上に、財団法人鍋島報効会所蔵の文化御城下絵図(1810年頃製作)を重ね合わせた地図。裏面には、西部地域の佐賀城下まち歩きマップを記載。作成数:3000部

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
地域文化保存・継承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 地域資源を次期世代に引き継ぐため、地域資源を維持・保全及び継承するための地域活動又は地域資源を活かした地域活性化の活動を行う団体に対し財政的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度採択事業

- 伝統芸能等に係る衣装ほかの修繕等事業 1件
  - ・古湯鉦浮立の法被の新調を行った。
- 地域の自主的な活動(地域資源の保存継承)事業 4件
  - ・蓮池町に継承されている蓮池藩歴代藩主掛軸9幅を撮影しレプリカを制作した。
  - ・「さかの歴史と文化遺産」の冊子の制作と出版を行った。
  - ・川上地区の歴史、史跡、人物等をまとめた「川上読本」を編纂し小中学校等に配布した。
  - ・神野町の歴史的・文化的資産を伝えるべく「わがまち神野」を出版し地域に配布した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

特に問題ない

状況を示す写真や資料等



新調された法被で奉納  
〔古湯鉦浮立保存会〕



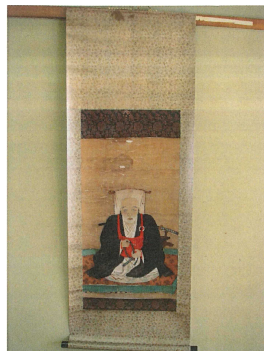
新調された法被  
〔古湯鉦浮立保存会〕

○ 伝統芸能等に係る衣装ほかの修繕等事業(補助対象経費の1/3以内で上限30万円)

No.	申請団体名	事業名	申請内容
1	古湯鉦浮立保存会	古湯鉦浮立 法被の新調	法被の新調

○ 地域の自主的な活動(地域資源の保存継承)事業 (補助対象経費の2/3以内で上限30万円)

No.	申請団体名	事業名	申請内容
2	蓮池藩歴史研究会	歴史資料(蓮池藩歴代藩主掛軸9幅)撮影及びレプリカ制作	佐賀藩支藩である蓮池藩の歴代藩主の肖像画(掛け軸)のレプリカを作成し、地域遺産を地元で公開する。 ※当該肖像画は佐賀県立博物館に寄託
3	さかの歴史と文化遺産を歩く会	「さかの歴史と文化遺産」冊子製作・出版	これまで見て歩き、勉強してきたものを冊子にまとめる。佐賀市民が一層、郷土史に関心を持ってもらうことを期待し、次の世代に引き継いでもらいたい。
4	「川上読本」編集委員会	「川上読本」編纂	川上地区の歴史や賦存する史跡・人物などを編集し、本にまとめ、小中学生の教本や情報発信、地域活性化の一助とする。
5	「神野町史」編集委員会	「わがまち神野」出版	急激に失われつつある神野の歴史的・文化的遺産を伝えるべく、平成22年度から編集委員会を立ち上げ、資料提供・昔の話などを、地域住民の協力を得ながら冊子にまとめる。この本は地域住民に提供していく。



掛軸のレプリカ制作  
(蓮池2代藩主直之公)  
〔蓮池藩歴史研究会〕



「さかの歴史と文化遺産」冊子製作・出版  
〔さかの歴史と文化遺産を歩く会〕



「川上読本」編纂  
〔川上読本〕編集委員会



「わがまち神野」出版  
〔神野町史〕編集委員会

	評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況
指定文化財要覧作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年～平成25年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市町村合併後、当市の指定文化財の概要を記したものが無いため指定文化財要覧の作成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財要覧に記載する写真について、重要無形民俗文化財及び天然記念物を中心に約65点を撮影。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文書作成とその検証に時間を要することから、平成25年から2か年をかけて事業を実施することになり、完成時期が平成26年度となったため、計画変更について検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



旧佐賀市指定文化財要覧 平成15年3月発行



白鬚神社の田楽 [国重要無形民俗文化財]



三重の獅子舞 [県重要無形民俗文化財]



松枝神社奉納浮立 [市重要無形民俗文化財]

今年度撮影した重要無形民俗文化財の写真の一部

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
まちづくりファンド活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成27年度

支援事業名 佐賀市ふるさとづくり基金

計画に記載している内容  
 佐賀市ふるさとづくり基金を活用し、次の事業を実施する。  
 ① 市民主導のまちなか「通り」導線づくり事業  
 ② 歴史的建造物等を生かした交流とにぎわいづくり事業  
 ③ 重要建造物等活用事業

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度採択事業  
 ●市民主導のまちなか通り導線づくり事業 2件  
 中心市街地における街区で統一した計画のもと、建造物のファサード整備を行い、まちなかの導線づくりに貢献した。  
 ●歴史的建造物等を生かした交流とにぎわいづくり事業 1件  
 歴史的建造物の内部を改修し市民交流のスペースをつくり、中心市街地のにぎわいづくりに貢献した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 応募件数が少なく、市報及び市ホームページでの周知回数及び周知方法を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



新築された建築物のファサード整備  
〔竣工〕



既存建築物のファサード整備  
〔着工前〕



既存建築物のファサード整備  
〔竣工〕



歴史的建造物等を生かした  
交流とにぎわいづくり事業(井徳屋)  
〔着工前〕



歴史的建造物等を生かした  
交流とにぎわいづくり事業(井徳屋)  
〔竣工〕



歴史的建造物等を生かした  
交流とにぎわいづくり事業  
井徳屋(旧3階建旅館)  
新馬場通り(松原神社参道)



参考  
市民団体主催による「日峯さん朝市」  
2回/月開催  
市民団体によるまちづくりが進められている  
新馬場通り(松原神社参道)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
佐賀市指定文化財維持管理謝礼金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 佐賀市指定文化財を維持及び管理する個人・団体に対し、謝礼を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●佐賀市指定文化財維持管理謝礼金 90件  
 謝礼金の目的:  
 市指定文化財の適正な維持管理を行っている所有者(又は管理者)に対し謝礼金を支払うことで、所有者等としての自覚並びに文化財愛護の意識高揚を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない 特に問題ない

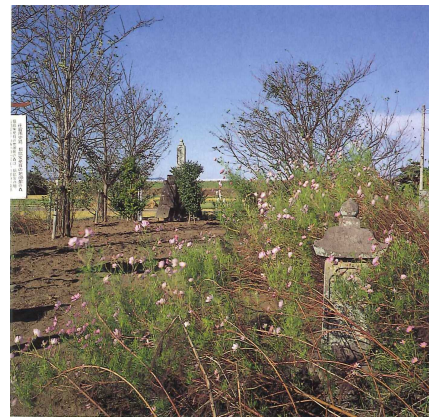
状況を示す写真や資料等

■平成24年度 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金一覧

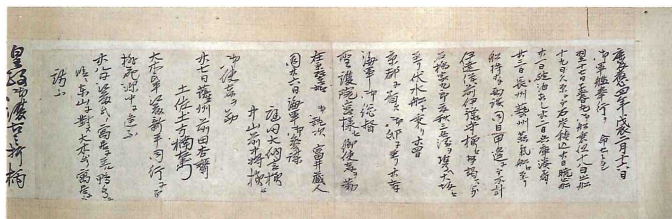
- 佐賀市指定重要文化財の管理者 56件  
 工芸品17件、古文書3件、建造物12件、石造物1件、彫刻13件、絵画3件、書跡3件、歴史資料4件
- 佐賀市指定重要有形民俗文化財の管理者 9件
- 佐賀市指定史跡の管理者 13件
- 佐賀市指定天然記念物の管理者 12件



木造鍋島直直坐像(1躯)  
 市重要文化財(彫刻)  
 所有者等 高伝寺



鍋島家発祥の地 御館の森  
 市史跡  
 所有者等 個人



島義勇の旅日記(1巻)  
 市重要文化財(書跡)  
 所有者等:個人



大小野の石楠花(1株)  
 市天然記念物  
 所有者等 個人

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	国・県・市指定無形民俗文化財の保存団体などに対し、同団体などが実施する無形民俗文化財を継承していく取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 11無形民俗文化財 10団体  
補助金の目的  
国・県・市指定の無形民俗文化財の継承を支援することを目的とし、保存団体等の実施する無形民俗文化財継承事業に要する経費(保存会の運営に関する経費)に対し、補助金を交付する。
- 指定無形民俗文化財保存会代表者会の開催 12無形民俗文化財 13団体  
会設置の目的  
指定無形民俗文化財保存会の代表者が集まり、事例発表や情報交換を行うことにより、団体間の連帯感を強め、今後の無形民俗文化財の保存継承につなげる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない
- 特に問題ない

状況を示す写真や資料等

■平成24年度 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金申請一覧

名称	文化財指定	所在地	奉納場所	保存会等名称
1 白鬚神社の田楽	国指定	久保泉町川久保	白鬚、勝宿神社	「白鬚神社の田楽」保存会
2 見島のカセドリ	国指定	蓮池町見島	熊野権現社	見島のカセドリ保存会
3 市川天衝舞浮立	県指定	富士町市川	諏訪神社	市川天衝舞浮立保存会
4 三重の獅子舞	県指定	諸富町為重	新北神社	諸富町無形文化財保存会
5 太田の浮立	市指定	諸富町太田	太田神社	
6 浮立玄蕃一流	市指定	神野町東神野	堀江神社	東神野天衝舞浮立保存会
7 高木八幡ねじり浮立	市指定	高木瀬町東高木	高木八幡宮	高木八幡ねじり浮立保存会
8 海童神社奉納浮立	市指定	川副町犬井道	海童神社	南川副浮立保存会
9 松枝神社奉納浮立	市指定	川副町大詫間	松枝神社	大詫間浮立会
10 東与賀銭太鼓	市指定	東与賀町	不定	東与賀銭太鼓を育てる会
11 快万浮立	市指定	久保田町快万	香椎神社	快万浮立保存会

■指定無形民俗文化財保存会代表者会 (平成24年8月8日開催)

- 12無形民族文化財、13団体
- ・祭事等の事例報告
  - ・行政や民間の助成金及び補助金の説明
  - ・各団体の課題・問題点などの意見交換

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
文化財の調査・指定 保存管理計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 ●未指定の文化財については、文化財としての価値調査を行い、その結果に基づき指定・登録を行うとともに、その保存と活用に努める。  
●個々の文化財の状況を確認しながら、保存活用計画の策定に向けて検討を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財調査
  - 市域全体 確認調査176件 本調査14件
  - 内歴まち計画重点区域 確認調査13件 本調査0件
- 文化財の新指定及び新登録
  - 三重津海軍所跡:史跡指定(H25.3.27告示)
  - 牟田寄遺跡出土銅印:県指定重要文化財指定(H24.4.27告示)
  - 牟田寄遺跡出土土骨:県指定重要文化財指定(H24.4.27告示)
  - 与賀神社本殿・幣殿・拝殿:登録有形文化財(建造物)登録の文化審議会答申(H24.12.14答申)
- 保存管理計画
  - 三重津海軍所跡の保存管理計画の策定中

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特に問題ない

状況を示す写真や資料等



与賀神社本殿・幣殿・拝殿  
〔登録有形文化財への答申〕  
本殿・幣殿・拝殿を一直線に接続した複合社殿  
現存する本殿と拝殿の棟札は、宝暦8年(1758)・  
宝暦9年(1759)とある。



三重津海軍所跡  
〔史跡指定〕  
写真は、在来の土木工法による幕末期の船渠(ドック)



牟田寄遺跡出土土骨  
〔県重要文化財〕  
県内で初めて出土した土骨  
(占いに使った骨)  
写真は、8点のうち2点



牟田寄遺跡出土銅印  
〔県重要文化財〕  
県内で初例となる古代の印章で  
完存の鋳物製品

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備)、防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- 指定文化財の保存修理にあたっては、佐賀市以外の所有の場合は、所有者などとの連携を図りながら適切な保存修理を行い、また、市所有の指定文化財については計画的な保存修理を行う。
- 既指定文化財建造物のうち、消防施設が老朽化しているものや型式が適合しないものについては、速やかに消防設備の設置を図る。
- 毎年実施している「文化財防火デー」にあわせ、文化財に指定された建造物の防火訓練を文化財所有者、消防署や消防団との連携により実施しており、今後も防火訓練の充実を図るとともに地域住民への防火意識の啓発を強化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の修理  
 旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)[重要文化財]の可動桁滑車補修  
 銅造明神鳥居(県重要文化財)の銅版張替  
 松枝神社奉納浮立[市重要無形民俗文化財]の太鼓皮張替  
 万部島六地藏の修復[市史跡]
- 防災関係の取り組み  
 武家屋敷の門(八幡小路)の火災報知受信機取替  
 文化財防火訓練 神社関係者、自治会、消防団、消防局等 約70名参加

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

特に問題ない

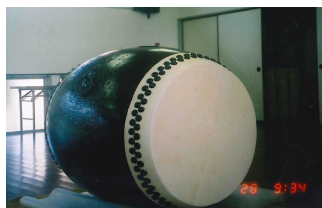
状況を示す写真や資料等



万部島六地藏保存修理  
修理前(左写真)、修理後(右写真)



武家屋敷の門(八幡小路)  
[市重要文化財]  
火災報知受信機取替



松枝神社奉納浮立  
[市重要無形民俗文化財]  
太鼓皮張替



旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)  
[重要文化財]



右写真:可動桁滑車補修中



文化財防火訓練  
平成25年1月26日  
勝宿神社本殿[市重要文化財]

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

●文化財に関する普及啓発の取り組み  
 計画に記載している内容 まちづくりの市民団体と連携し、市民や来訪者に対する歴史資産の情報提供を積極的に行い、当市の魅力を伝えることが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●三重津海軍所跡(史跡)、佐賀城跡(県史跡)、築地反射炉跡(市史跡)の発掘調査現地説明会の開催や、歴史・文化をテーマとした講演会やシンポジウム、出前講座等には多くの参加者があった。  
 平成24年度の主な普及啓発事業 事業数:16件 総参加者数:7011名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

特に問題ない

状況を示す写真や資料等

平成24年度 主な普及・啓発事業一覧

事業名	開催日	参加人数	事業内容
東名遺跡出前授業(市内小学校)	4月12日～5月24日(11日間)	7校 6年生 593名 保護者23名	東名遺跡からの出土遺物を実際に見たり触れたりすることで興味を持たせ、縄文人の食生活や高度な技術力を体感させる。また小学校で出土遺物のミニ展示を実施
佐賀城天守台折り紙ヒコーキ大会	6月 2日	99名	佐賀城まめ知識を書いた折り紙で、競技用折り紙ヒコーキを作成し、天守台より飛ばして飛行距離を競った。
完全復元伊能図 全国巡回フロア展in佐賀	8月3～5日	3500名	完全復元された伊能図をフロア一面に展開し、自由にその上を歩いて、見てもらった。
東名遺跡講演会	8月18日	35名	「貝輪について」の講演会
東名遺跡体験学習	8月18日	小学生20名 保護者12名	現生のベンケイ貝を材料に、石と鹿角を使って貝輪を作成した。
築地反射炉発掘調査現地説明会	9月1日	100名	築地反射炉跡発掘調査現地説明会
東名遺跡シンポジウム	10月14日	200名	「植物利用の源流を探る 一湿地に残されたもの」公開シンポジウム
東名遺跡編みかごワークショップ	10月14日	60名	東名遺跡出土編みかごの復元作成体験
世界遺産フェスタ	10月20・21日	300名	三重津海軍所跡ドッグ部分調査地の現地公開
佐賀城フェスタ	11月23・24日		
・石割体験	11月23日	50名	佐賀城築城時の工法を用いた石割体験
・佐賀城天守台現地説明会	11月23・24日	170名	佐賀城天守台発掘調査現地説明会
・佐賀城シンポジウム 「佐賀城天守を考える」	11月24日	207名	佐賀城天守台に関する公開シンポジウム
三重津海軍所跡現地説明会	12月1日	200名	三重津海軍所跡発掘調査現地説明会
第18回佐賀市文化連盟合同文化祭	12月2日	1200名	佐賀市内各支部・各団体の合同発表会
佐賀城築城400年記念事業 「古文書を読んでみよう」	12月8日	30名	佐賀城文献調査で調査した「諫早家文書」の象の記事を取り上げ講読会を開催
世界遺産出前講座(7回開催)		242名	世界遺産登録を目指す「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産である「三重津海軍所跡」について

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
歴史のまちづくり	H24.4.15	佐賀新聞 論説
伊能忠敬全国巡回フロア展in佐賀	H24.8.3/4/5	佐賀・朝日・読売・毎日・西日本の各紙
森永家住宅を佐賀県遺産に	H24.9.14/17/19/25 H25.1.20/21	佐賀・朝日・読売・西日本の各紙
森永家住宅の見学会	H24.12.16/19	読売・佐賀の各紙
三重津海軍所跡 国史跡へ	H24.11.17	佐賀・朝日・読売・毎日の各紙
与賀神社本殿など答申一登録有形文化財に	H24.12.15	佐賀・西日本の各紙

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画の認定について、佐賀新聞論説に「計画認定による国の後押しを受け、さらに景観や環境を向上させ、住む人にも、訪れる人にも魅力ある地域に育てたい。」と掲載され、同計画の市民への周知が図られた。伊能忠敬の佐賀測量200年を記念し開催した「伊能忠敬全国巡回フロア展in佐賀」には、3日間で3500名の方が訪れ、歴史に興味を抱かせることができた。三重津海軍所跡の史跡指定の文化審議会の答申の記事は、世界遺産登録に向けて市民の機運が盛り上がるると同時に、特に幕末佐賀の歴史に興味を示し、佐賀城下探訪会やシンポジウムには多くの市民が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり  
□計画の進捗に影響なし

特に問題ない

状況を示す写真や資料等



原寸大伊能図 歩く きょうから佐賀市で公開



江戸時代の測量家・伊能忠敬(1745~1818)が作製した日本地図の原寸大伊能図の展示が3日から佐賀市の市村記念体育館で始まる。紙下を歩いていけば地図の上を歩くことができる。5日まで、無料。17年かけて約4万歩を歩いた忠敬は文化9(1812)年に佐賀を測量しており、200周年を記念して開かれる。もっとも大きな大図(縦横3万6千分の1)214枚を2名×1名のウレタン製パネル256枚に再構成。中図(同21万6千分の1)8枚、小図(同43万2千分の1)3枚と、測量に使った機軸などのパネルも展示される。4、5日は体育館午前8時スタートで、忠敬が佐賀城下を歩いた道を追体験するウォーキング大会も開かれる。参加料100円。(大野玄) デジタル版に動画

伊能忠敬全国巡回フロア展in佐賀 朝日新聞(H24.8.3)

**三重津海軍所跡 国史跡へ**

文化審議会(登録有形文化財)の答申が、伊能忠敬の測量の足跡を踏む。三重津海軍所跡は、開港後が自ら測量した。第一門、突破される。伊能忠敬の測量の足跡を踏む。伊能忠敬の測量の足跡を踏む。伊能忠敬の測量の足跡を踏む。

**世界遺産登録準備進む**

文化審議会(登録有形文化財)の答申が、伊能忠敬の測量の足跡を踏む。三重津海軍所跡は、開港後が自ら測量した。第一門、突破される。伊能忠敬の測量の足跡を踏む。伊能忠敬の測量の足跡を踏む。伊能忠敬の測量の足跡を踏む。

三重津海軍所跡 国史跡へ  
佐賀新聞(H24.11.17)

三重津海軍所跡は、幕末に活躍した海軍少佐の居る。伊能忠敬の測量の足跡を踏む。伊能忠敬の測量の足跡を踏む。伊能忠敬の測量の足跡を踏む。

**論説**

佐賀城周辺の歴史的景観を生かしたまちづくりを目指す佐賀市の「歴史的風致維持向上計画」の認定を受け、本年度から10年間にわたり、国の支援を受けながら景観の維持向上などに取り組むことになる。

**全国で31市町認定**

歴史的風致維持向上計画は、2008年に施行された「地域における歴史的風致の維持および向上に関する法律(歴史まちづくり法)」に基づき、市町村が景観や環境整備などの計画を策定。文部科学省と国土交通省、農林水産省の3省の認定を受ければ、国の支援が得られる。歴史的景観の維持管理に多くの費用と手間がかかることや高齢化などに多負担の事

歴史のまちづくり

国支援助で魅力ある地域へ

佐賀市の計画によると、計画の対象は江戸時代の城下町や旧長崎街道を中心とした「佐賀城下町地区」の約400戸で、佐賀歴史民俗館の保存修理、大隈記念館改修、松原公園整備、長崎街道整備などを進める方針だ。

佐賀市中心部には江戸時代の区画がほぼそのまま残っており、街地が一体となって形成

国支援助で魅力ある地域へ

佐賀市の計画によると、計画の対象は江戸時代の城下町や旧長崎街道を中心とした「佐賀城下町地区」の約400戸で、佐賀歴史民俗館の保存修理、大隈記念館改修、松原公園整備、長崎街道整備などを進める方針だ。

佐賀市中心部には江戸時代の区画がほぼそのまま残っており、街地が一体となって形成

メールアドレス s-ronsetsu@saga-s.co.jp 2012.4.15

歴史のまちづくり 佐賀新聞 論説(H24.4.15)

評価対象年度	平成24年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:佐賀市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:平成25年5月21日(火) 15:00~17:00 会場:佐賀市立図書館 大集会室	
(コメントの概要)	
<p>◆進捗評価シートに対するコメント</p> <p>【佐賀城公園整備事業】 東堀は、元々幅が70mほどあった。東堀復元といっても堀幅は狭いところで25m、広いところでも37mしかない。将来、東堀周辺の建物等の移転が進み、公園計画の再検討の中で、東堀の幅の拡幅を再度検討してもらいたい。</p> <p>【重要文化財「鯨の門及び続櫓」保存修理事業】 今回、一旦事業から取り下げることが理解したが、本計画の計画期間中に再度、保存修理の必要性の有無の検討をお願いしたい。</p> <p>【旧久富家住宅取得保存修理事業】 建物の保存だけでなく、「履物問屋 久富商店」の看板や調度品など建物の歴史がわかる資料は、活用する際にできるだけ、その建物の中で残していただきたい。</p> <p>【大隈記念館改修事業】 大隈記念館は独創的な意匠であり、設計した今井兼次氏の意図を残した改修計画としてもらいたい。</p> <p>【まちづくりファンド活用事業】 歴史的風致の維持向上とファンド事業の「まちなかの交流とにぎわいづくり事業」との調整が難しいだろうが、そこは重要なところでもある。特に歴史的建造物の場合の対応と調整をお願いしたい。</p> <p>◆その他関連するコメント 佐賀城西堀の赤石護岸は、現在道路護岸も兼ねており、そのため力がかかり膨らんでいる。堀を埋めて歩道を広くしたいという声もあったが、今は赤石護岸を残すという方針になった。しかし、そのままでは、車の輪荷重で崩れるので補強を行う。これが文化財と土木の接合点であり、知恵の出どころである。今後、石橋の復元という事業もこの計画に記載されているが、文化財と土木の知恵を出さなければ、これも成立しない。委員も含め、みんなで知恵を出していこう。</p>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大隈記念館改修の設計は、設計者の今井兼次氏が残した意匠を十分考慮し進めていく。</li> <li>・本協議会から指摘があったように、文化財と土木関係者との知恵の出し方が重要であり、庁内においては、文化財部局と建設部局や商業・観光部局等との連携や調整を十分図りながら、歴史まちづくり事業を推進していく。</li> </ul>	